

### 私たちの身近な文化財

### 鎌倉街道

小平市内には、鎌倉街道といわれる道路が南北に通っています。その道筋は、九道の辻から株式会社ブリヂストン東京工場までは開発により失われていますが、その南からJR新小平駅の西側をかすめ、青梅街道とたかの街道と交差して津田塾大学の東側を通っています。



（たかの街道から鎌倉街道を望む）

鎌倉街道とは、中世に整備された鎌倉（神奈川県）を通る道の呼び名です。平安時代までは日本の政治は京都の貴族が権力をもっていました。平安時代の後半になると武士が力をつけ始め、ついに建久3年（1192年）には武士の名門である源頼朝が天皇より征夷大将軍に任命され、鎌倉に幕府を開き権力を握ります。そのため政治の中心は近畿から関東に移り、鎌倉と各地を結ぶ道が発達しました。ただ、鎌倉街道という名前も、江戸時代になってからのもので、それ以前は「鎌倉道」「鎌倉往還」「鎌倉大道」などと呼ばれており、現在とは少し違っているようです。当時主な道路として栄えたのが、「上道（かみつみち）」、「中道（なかつみち）」、「下道（しもつみち）」でした。

これら三本の道はすべて武蔵国（現在の埼玉県・東京都・神奈川県の一部）を通り、上道は鎌倉と下野（栃木県・上野（群馬県）・信濃（長野県）・越後（新潟県）を、中道は鎌倉と奥州（東北地方）を、下道は鎌倉と下総（千葉県）、常陸（茨城県）をつないでいました。小平市内を通っていたのはこの中の「上道」で、武蔵国内では今の町田・府中・国分寺・小平・東村山・所沢の各市を南北に走って、以前コーナーでご紹介した古代の幹線道路である「東山道武蔵路」の道筋とだいたい一致していました。正安3年（1301年）にできた「宴曲抄（えんきょくしょう）」と



（図1 鎌倉街道上道・中道・下道）

いう歌謡集の歌の一つに、上道沿いの地名として恋ヶ窪（国分寺市）と久米川（東村山市）が唄われており、その中間にあたる小平市域も上道が通っていたと考えられます（図1）。

ただし、中世当時の小平市内は、道は通っていましたが集落のない無人の地で、村ができるのは江戸時代に小川村の新田開発が行われてからでした。その時鎌倉街道沿いも開拓された結果、道筋は新田の短冊型地割に沿った形に修正されたものと思われます（図2）。

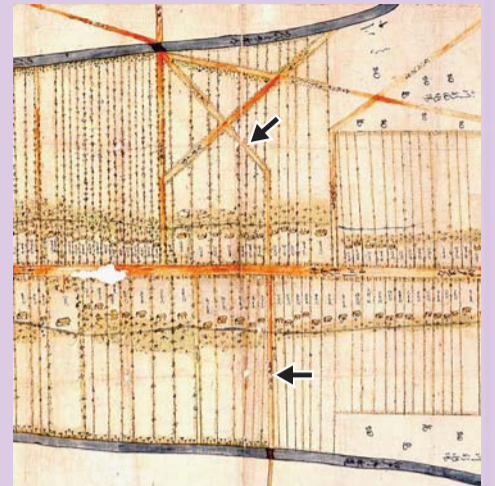
小平市内には、鎌倉街道にかかわる伝承がいくつか残っています。上水本町には「二つ塚」という地名があります。これはかつて鎌倉街道沿いに一里（約4km）ごとに塚が作られて道標となっていたことに由来しています。また、小川町2丁目のJR新小平駅の西側には「石塔が窪」と呼ばれる地名がありますが、これはここに江戸時代の終わりごろまで板石塔婆（緑泥片岩という埼玉県秩父地方でとれる緑色の石で作られた中世の供養塔、板碑）が建っていたことによります。板石塔婆は道ばたに建てられることが多いことから、その付近に上道が通っていたことをうかがわせます。

また、鎌倉幕府を打倒した新田義貞は、上野国世良田（群馬県太田市）で拳兵し、上道を攻め上って鎌倉を陥落させました。このとき九道の辻にさしかかり、どの道を通れば鎌倉へたどりつけるか迷ったため、以後迷うことのないようサクラを植え、鎌倉への道しるべとしたとの伝承があります。

現在、鎌倉街道は小平市内を通る道路の中では小さな道ですが、かつては主要な大道として大きな歴史の舞台となった由緒ある道路なのです。

## キッズコーナー

小学生、中学生に読んでもらいたい記事をおせています。読めない字があったら、おうちのの人に教えてもらってね。



（図2 小川村地割図（延宝2年（1674年））に見える鎌倉街道の道筋）

## 第19回 大沼公民館まつり

子どもから大人まで、どなたでも楽しめるメニューが盛りだくさんです。七小、六中の児童・生徒による演奏・作品展示もあります。家族や友達と一緒に足を運んでみませんか。

とき 令和2年1月18日(土) 午前9時30分～午後4時  
19日(日) 午前9時30分～午後3時30分  
ところ・問合せ 大沼公民館 ☎042(342)1888



### 企画展

## 「平櫛田中がみつめた書の世界」



（書を楽しむ平櫛田中）

平櫛田中は晩年、彫刻制作のかたわら書作に励みました。独学で書を楽しんだ田中は、中国の古書資料や書家の作品などを収集し、自身の書の世界を作りました。展覧会では中央図書館所蔵の「平櫛田中文庫」の書資料もあわせて、平櫛田中の書の世界をご紹介します。

とき 令和2年2月16日(日)まで  
午前10時～午後4時  
※なるべく午後3時30分までに入館してください。



小平市 平櫛田中彫刻美術館  
KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

### ◆ボランティアガイドによる展示解説

とき 令和2年1月18日(土)、2月9日(日) 各日とも、午前11時から、午後1時30分から（30分程度）。

休館日 火曜日  
令和元年12月27日(金)から令和2年1月5日(日)までは年末年始休館

観覧料 一般…300円（220円）  
小・中学生…150円（110円）

※カッコ内は、団体20人以上です

問合せ 平櫛田中彫刻美術館  
☎042(341)0098

※駐車場はありません。車で越しの方はお問い合わせください。

## 第45回 少年少女マラソン大会を開催しました

12月1日(日)に中央公園競技場および外周コースで小学校3年生から6年生の各学年、男女別にレースが行われました。

当日は、498人の参加者による熱戦が繰り広げられました。

	3年生	4年生	5年生	6年生
男子	1位 井上 陽翔 (八小)	猪狩 承太郎 (九小)	宮本 快 (六小)	田玄 呼次郎 (九小)
	2位 野口 漣矢 (十二小)	原嶋 真大 (六小)	山本 颯人 (創価小)	美馬 豊 (鈴木小)
	3位 奥住 惟斗 (学東小)	小林 未来瑠 (九小)	小林 幹 (六小)	金子 龍太 (花小)
女子	1位 班 裕寧 (三小)	田西 柚子 (十一小)	宮崎 絢乃 (鈴木小)	レグミ 容子 (四小)
	2位 樋口 穂乃花 (八小)	安陪 彩香 (六小)	若杉 咲那 (八小)	打川 百葉 (鈴木小)
	3位 小谷 優子 (八小)	馬場 珊瑚 (十一小)	齋藤 華心 (四小)	佐藤 夢来 (四小)

※3年生・4年生は1,500m、5年生・6年生は2,100mで競いました。  
※その他の入賞者については、小平市ホームページに掲載しています。

6年生男子の第1レースおよび6年生女子のレースにおいて、運営上の不手際により、参加された児童並びに保護者の皆様へご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。



（文化スポーツ課）

## 本との新しい出会いを「本の福袋」

5周年を迎えた「本の福袋」！図書館では今年も貸し出しを行います。どんな本が入っているかは、借りてからの楽しみ。

とき 12月21日(土)から ※福袋がなくなり次第終了

ところ 市内図書館・分室全館

内容 対象年齢別に「本の福袋」を貸し出しします。子ども向け（0～2歳児、3～6歳児、小学1年・2年生、小学3年・4年生、小学5年・6年生、中学・高校生）、大人向けがあります。

※図書館利用カードの登録が必要です（利用停止の方は不可）。

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246



## ふるさとの新聞元旦号展 ～新年の香りを各地から～

全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集めた40回目のふるさとの新聞元旦号展を開催します。

地方色あふれる紙面から、ふるさとの香りと新年を迎える各地方の表情をお楽しみください。郷土色豊かな地方出版物も併せて展示します。

※新聞の展示は、各新聞社から届き次第、順次行います。

日程 ▷令和2年1月5日(日)～9日(木) 中央図書館  
▷令和2年1月11日(土)～15日(水) 上宿図書館  
▷令和2年1月18日(土)～23日(木) 大沼図書館  
▷令和2年1月25日(土)～30日(木) 小川西町図書館

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246